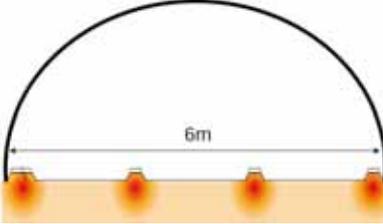


東北地域の復旧・復興に資する技術シーズ情報

技術シーズ名		ハウス内に設置する太陽熱浅層地中加温システム
研究者等	所属	株式会社ソラール
	職名・氏名	
	連絡先	NPO法人グリーンテクノバンク 専務理事 八戸三千男 011-210-4477, E-mail ;gtbh@almond.ocn.ne.jp
<p><シーズの内容・特徴・留意点等></p> <p>被災地である東北地方の太平洋沿岸には大規模な施設栽培地帯があり、安定生産には冬期間の加温が欠かせない。東北の農業復興を支援に資するためこの地域の気象条件で利用できる低コストな脱石油型のハウス栽培用太陽熱利用暖房システムである（特許出願済み）。</p> <p>このシステムの特徴は、選択吸収膜性能と耐熱性・柔軟性を持つフィルムで作られた太陽熱集熱袋を集熱装置として使用することにある。集熱袋には水が封入されており、そこからの熱伝導で地下5～10cm程度まで加温することができ、冬期の外気温が-10℃前後、日射量が夏期の半分程度の地域に適するハウス栽培用太陽熱利用暖房システムである。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>【 ハウス内設太陽熱浅層地中加温システム】</p> <p>建設費は、現状では約120万円（50メートル×6メートルハウス、4畝）である。太陽熱を利用するため灯油代などの維持費は不要である。</p>		
関連特許	<p>「農業用パイプハウス内部設置型太陽熱暖房システム」 特願 2011-278917 号</p> <p>「野菜栽培用フィルムバッグ太陽集蓄熱器及びその使用法」 特願 2012-172354 号</p>	
想定される用途等	東北地方の太平洋沿岸を中心とする施設栽培地帯のイチゴ、花き等のハウス暖房	
関連資料等	使用されている吸熱フィルムの製造技術は、（財）北洋銀行中小企業新技術研究助成基金より表彰を受け、平成20年度北洋銀行ドリーム基金研究開発助成金を受けている。	

（平成24年9月）